



グルモール

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2022

第 12 号

令和 4 年 3 月 11 日

令和 3 年度もコロナ禍の厳しい 1 年間となりました。

この 1 年の皆様のご理解とご支援に対し、心より感謝申し上げます。

校長 足立 浩

本日、3月11日の修了式をもって令和3年度ニューデリー日本人学校の全教育課程を修了いたしました。本年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症に翻弄される1年でした。4月、始業式・入学式を予定していた日の直前に学校閉鎖となり、オンライン授業へと移行しました。令和3年度派遣の先生方が着任するやいなや、オンライン授業の準備をして新年度をスタートしたことが思い出されます。

今年度、対面授業（学年閉鎖を除く）の日数は104日（G6・G9は101日）となり、年間192日（G6・G9は189日）学習に取り組んだこととなります。昨年度がわずか17日間だけの対面授業だったことを考えると、コロナの感染状況も落ち着きを見せつつあるかと思われまふ。しかしながら、先の見通しが立ち、計画通り教育活動が進められるかと言えば、まだ難しいところです。令和2年の大きなロックダウンが実施された頃には、このコロナ禍は2年程度続くだろうという予測がありました。厳しい2年間が過ぎ、3年目となる令和4年度はどんな年になるのでしょうか。ロックダウンや学校閉鎖という言葉を聞くことのない、穏やかな1年となることを祈るばかりです。

3月8日には、令和3年度の卒業証書授与式を実施しました。小学部9名、中学部6名の卒業生が、来賓・保護者の皆様、教職員、在校生代表（G5、G8）が見守る中、成長した凛々しい姿で巣立っていきました。この1年、卒業生は様々な場面で全校生をリードしてくれました。ジャパリンピックのインディアンダンス、ニューデリー日本人学校ソーランはいずれもそれを象徴するものであり、本校の伝統を継承する演技となりました。卒業式当日、G1～G4児童とG7生徒は、コロナ対策のため卒業式には参加できませんでしたが、それぞれ祝福を届けてくれたことと思います。卒業生に直接「恩返し」はできなくても、教えてもらったことを次につなぐ「恩送り」はできます。そして「恩送り」の繰り返しが、本校の良き伝統につながります。卒業生から学んだこと、受け継いだことを次年度ニューデリー日本人学校の諸活動に生かしてほしいと願っています。

学校再開後、短期間で迎えた卒業式でしたが、厳しいコロナ禍においても大切な節目として無事に終えることができ、有り難く思っています。

修了式の後、フィルミレングの会で児童生徒13名と、また離任式で5名の先生方とお別れをしました。ニューデリー日本人学校を離れる皆さんの新たな地での活躍とご多幸を心から祈っています。

修了式の日を迎えるにあたり、この1年間本校の教育活動に対しまして、保護者・学校理事会・デリー日本人会及び大使館の皆様の多大なご理解、ご支援をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

ありがとうございました。



3月の主な学校行事を紹介します



フィルミレング

2年ぶりのフィルミレングの会を行いました。コロナ禍においては多くの児童生徒の転校がありました。長期間の学校閉鎖の為、今まではクラス単位で実施してきました。今回は、対面で、児童生徒会が中心になり花輪の贈呈も行いました。



G6 和太鼓発表会

3月4日、卒業前に保護者を招待して感謝の気持ちを込めて伝統の和太鼓演奏を行いました。2月28日には全校朝会で披露しました。学校閉鎖もありましたが、伝統が引き継がれています。



G5 篠笛発表会

3月9日、5年生が保護者を招待して伝統の篠笛発表をしました。発表後は、一年間の成長をビデオで視聴し、最後に5年生での成長を一人一人発表しました。オンライン授業と対面授業で精一杯頑張った一年間でした。



卒業証書授与式



※詳細な活動は「what's new」をご覧ください。

【令和4年度PTA役員紹介】

来年度の役員が選決定しました。令和3年度PTA役員の皆様、ありがとうございました。令和4年度役員の皆様、どうぞよろしく願いいたします。スペースによってカット

令和3年度PTA役員

会長 姫野 陽子 様
 副会長 宮城 章 様
 橋本 祥子 様
 書記 澤田 佐栄子 様
 学年委員長 森下 まりも 様
 バス運行委員長 真田 衣江 様
 バス実行委員長 清瀬 仁美 様

令和4年度PTA役員

会長 出井 彩 様
 副会長 木原 健介 様 牧野 裕美子 様
 書記 芝本 李奈 様
 学年委員長 小牧 雅未 様 学年副委員長 小川 ももこ 様
 バス運行委員長 高橋 治子 様 バス運行副委員長 高山 ふき子 様
 バス実行委員長 皆見 恵 様 バス実行副委員長 椎名 理絵 様

【帰任職員あいさつ ～フィルミレンゲ～】

校歌3番「みんなの学校 いつまでも みんなで築き 育てよう……今日も進むぞ 日本人学校」この歌詞が大好きです。コロナ禍において、多くの皆様に支えていただきご協力をいただきました。長い歴史と伝統をもつニューデリー日本人学校、今、学校がここにあることは当たり前ではないことに感謝しながら、止まることなくこの先どんな難局に遭ったとしても歴史を、伝統を刻みながら進んでほしいと思います。

4年間、ありがとうございました。

教頭 小林 悦子

激動の3年間。ただでさえ、毎日が新発見のインド。その上でもこの3年間はそれぞれ違ったものがありました。日本でも未開発のオンライン授業。インドにおける生活様式とは……。人生には答えが用意されていないものがたくさんあります。そんな中でも未来を切り拓かなくてはなりません。決して簡単な道のりではなかったですが、卒業式の答辞で、教育を止めずに継続したことに感謝を述べてもらったことが強く響いています。

保護者の皆様、今までありがとうございました。険しい道のりを共に歩んできたみなさん、君たちの笑顔が大好きでした。これからの学校をよろしく願います。 教務主任 矢澤 忍

「ソーランソーラン」という声が体育館で響いていた、1年目。中学部のソーランは迫力があり、圧倒された記憶があります。それから2年、グラウンドではこの学校の伝統を受け継ぐ子、引き継ぐ子がお互いに必死になってソーランを踊っているのが見られました。そうやって必死になっている姿が大好きでした。遠い日本からずっと応援しています。3年間ありがとうございました。

G7担任 鈴木 範樹

光陰矢の如し、あっという間の2年間でした。国語の時間は子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。特にインドの夏と冬の俳句作りは忘れられません。子どもたちは、豊かな感性をもち、上達が早いと思います。思春期のゆれる気持ちにも共感しました。インドで、ものの見方や感じ方、表現の仕方に磨きをかけ、今後の更なる成長を期待しています。お世話になりました。

中学部副担任 池田 朋子

インド・ニューデリーという地で、ニューデリー日本人学校の皆さんと出会えて本当によかったです。またいつかどこかで会えることを楽しみにしています。

2年間ありがとうございました。

フィルミレンゲ！

小学部副担任 久保 杏里



【3月の主な出来事】

- 2日（水）卒業式全体練習開始
- 8日（火）卒業証書授与式（G1～G4、G7は自宅学習、G5、6、8、9は式に出席）
- 11日（金）修了式 フィルミレンゲの会 離任式

【お知らせ】

- 4月11日、着任式、始業式、入学式の日程や詳細については、3月下旬頃までにGoogleクラスルームでお知らせいたします。
- バス運行再開については、4月当初に再開の予定はございませんので、一家庭一台のマイカー等登下校にご理解とご協力をお願いいたします。
- 本校の規定では、飛行機を利用した場合は、国内外問わず3日間の自主的隔離期間を設けています。移動等される場合は、4月11日の令和4年度スタートに出席できるよう計画を立てていただきますようお願いいたします。

【3月11日現在の在籍者数】

学年	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	合計
在籍者数	8	12	15	16	12	9	14	15	6	107